

令和6年4月
発行：依田窪老人保健施設
広報編集委員会
〒386-0603
小県郡長和町古町 3365-5
TEL：0268-68-0281
FAX：0268-68-0283

施設長着任あいさつ

施設長 城下 智



このたび、依田窪老人保健施設（老健）「いこい」の新しい施設長として、前須山和弘施設長の退職に伴い就任しました。城下智（じょうした さとる）と申します。

和田村保育園の卒園、和田小・中学校の卒業で、長和町（旧和田村）で育ちました。また、上田小県二次医療圏は、長野県内で医師偏在（不足）が最も顕著であり、国保依田窪病院院長と兼務しながら、2施設を担当していきます。

高齢化が進む中、老健の使命は、高齢者ができるだけ長く住み慣れた自宅で過ごせるよう支援することです。老健「いこい」は、在宅復帰・在宅療養支援に力を入れ、施設基準を満たした超強化型老健です。今後も引き続き、医療と介護の連携を強化し、在宅復帰を促進します。

また、利用者と家族との話し合いを重視し、中重度者や看取りへの対応もさらに充実させていきたいと思っています。長和町で育ち・育てられました。心の通った地域でのサポートがあったことに感謝しています。これからは、地域の皆様や利用者とのコミュニケーションを大切に、プログラムやイベントを通じて心身ともに健康で豊かな生活を支援したいと思っています。また、職員一人ひとりもやりがいを持って働ける環境づくりにも力を入れ、地域の皆様、利用者の方々、職員の方々と協力しながら、老健「いこい」をより良い施設にしていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

事務局長着任あいさつ

事務局長 橋詰 元和



4月1日から依田窪老人保健施設「いこい」の事務局長として着任しま

した橋詰元和と申します。

出身は武石で、地域の皆様には日ごろからいろいろとお世話になっており、心より感謝申し上げます。

初めての職場ということもあり、皆様には何かとご迷惑をお掛けすることがあるかと思いますが、前任者同様、変わらぬご指導・ご鞭撻をお願いいたします。

「いこい」は、老人保健施設として、利用者の皆さまに必要な介護サービスやリハビリなどを提供し、在宅復帰に向けた取り組みを行っています。

近年、急激な高齢化の進行に伴い、高齢者のみの世帯や独居高齢者が増加しています。

このような状況を踏まえ、「いこい」では、皆様が住み慣れた地域で、できるだけ長く自立した生活を送っていたために、様々な介護サービスを通じてお役に立てるよう引き続き取り組んでまいりますので、今後ともご支援・ご協力をお願いいたします。

令和6年度の予算は、5億8千890万円となりました

3月26日、依田窪医療福祉事務組合議会3月定例会が開かれました。

依田窪老人保健施設「いこい」の令和6年度特別会計予算案、令和5年度補正予算案が審議され可決されました。

令和6年度予算は、歳出の増を見込み、前年度に比べ1千493万6千円の増額予算となりました。施設や機器の老朽化に伴う更新・修繕費用等の増額が主な理由となっております。

主な予算は、次のとおりです。

令和6年度予算概要
(単位：千円)

歳入総額	588,910
施設サービス料収益	220,521
居宅サービス料収益	151,582
食費・居住費等収益	66,082
市町分担金	149,524
その他	1,201
歳出総額	588,910
給与費	384,582
材料費	36,664
経費	62,131
委託金	41,525
償還金	62,620
その他	1,388

令和6年度 介護報酬改定について

令和6年度は、介護報酬の改定が行われます。介護報酬の改定は、社会情勢や環境の変化に合わせて3年に一度の見直しが行われています。ただし、診療報酬の改定は6月からのため、訪問看護、居宅栄養管理指導、通所・訪問リハビリテーションに係る報酬は6月1日からの改定で、その他のサービスの改定は4月1日からとなっております。

今回の介護報酬の改定率は1.59%の引き上げとなりました。この内訳は介護職員の処遇改善分で0.98%の増額（令和6年6月施行）、賃上げ税制を活用しつつ、介護職員以外の処遇改善を実現できる水準であるその他の改定で0.61%の増額となっております。この他に、処遇改善加算一本化による賃上げ効果等の引き上げ分0.45%も併せれば合計で2.04%相当の改定となります。

依田窪老人保健施設「いこい」には、医師、看護師、介護員、理学・作業療法士、管理栄養士、支援相談員と多職種が勤務しています。

このコーナーでは、各職種からいろいろな情報を発信いたします。

地域貢献活動に参加して

通所リハビリテーション 相談員・介護員 小林 一徳

いこいでは、長和町社会福祉協議会と連携し、地域貢献活動を行っています。介護職員による嚙下体操や排泄体操、リハビリ職員によるコグニサイズ（頭と体を同時に動かす）等、楽しみながら介護予防につなげられる運動を行います。

令和6年2月7日（水）長久保14、15地区の地域貢献活動に介護職員として参加させていただき、「自宅で出来る骨折しにくい身体作り」（骨粗鬆症について、骨を強くする運動）について担当しました。

会場となる公民館は坂の上であり、なおかつ当日は雪が積もり足元の悪い中でしたが、10数名の方が集まって下さいました。

内容を一部紹介したいと思います。

骨粗鬆症とは、骨の強度が低下して、骨折しやすくなる骨の病気をいいます。骨折により、介護が必要になってしまう人も少なくありません。骨折しやすい部位は手首・背骨・太ももの付け根などで転倒によって起こりやすくなります。

骨粗鬆症の治療としては、薬物治療とともに食事療法や運動療法も並行して行い、骨強度を高め骨折を予防することが重要です。カルシウム、ビタミンD、ビタミンKなど、骨の形成に役立つ栄養素を積極的に摂取するこ



とも大切です。

転倒予防・骨を強くするための運動を行っている時には、「もっと回数を増やそう」「休憩を挟まないで続けよう」等の声があり、皆さん汗をかきながら体を動かしていました。

実施後の意見交換では、「運動の図があり解りやすかった」「家でもやっっていられるかと思う」等の前向きな意見をいただきました。地域の方々が温かく迎えてくださり、終始和やかな雰囲気で行う事ができました。

地域貢献活動は、介護職員、リハビリ職員が参加するため、専門的な運動やアドバイスも出来るかと思えます。興味を持っていただいた方はぜひ参加していただき健康維持や介護予防に繋げたり、職員との交流も楽しんでいただければと思います。

■人事異動

3月31日、4月1日付で人事異動がありました。

人事異動の内容は次のとおりです。

○ 3月31日付

施設長 退任 須山 和弘

理学療法士 滝沢 研一（上田市派遣）

管理栄養士 坪田 昌幸（老健↓病院）

若井 聖実

○ 4月1日付

施設長 城下 智（病院長兼務）

医師 白川 晴章（副病院長兼務）

事務局長 橋詰 元和（上田市派遣）

事務局 原 廣貴（長和町派遣）

主任看護師 山本 悠希（昇格）

主任介護員 清水 絵里衣（昇格）

理学療法士 田丸 正子（病院↓老健）

管理栄養士 小林 壘（新規採用）

★ 編集後記

この記事を作成している4月上旬では

あちこちで梅の花が咲き始めています。

我が家の庭では植えた覚えのないクロツ

カスが咲き始めています。3月には湿っ

ぽく重たい雪が何度か降り、雪かきには

苦労しましたが、近頃では気温もだいぶ

高くなってまいりました。急激な気温の

変化に体がついていかないような体調管

理が難しい時期かと思えますのでご注意

ください。

各地ではバラやつつじ等、お花にまつ

わるイベントや夏祭りの開催が予定され

ているようです。引き続き感染症対策に

は気を付けて様々なイベントを楽しめる

といいですね。（編集委員）